

# ISUCA

高橋 悠

4



I S U C A

Isuna Sakurashi Presents

## 目次

第貳拾貳話	<b>學校 ①</b>	103
第貳拾參話	<b>學校 ②</b>	115
第貳拾肆話	<b>學校 ③</b>	117
第貳拾伍話	<b>友達</b>	111
第貳拾陸話	<b>策動</b>	123
番外編 1	<b>番外編 1</b>	155
番外編 2	<b>番外編 2</b>	167



# ISUCA

— BRAND —

高橋 悠希







# 第五拾貳話 学校①





遅い

もうーあんまり  
遅いせなんじや  
ないわよ



はな  
遅くめよ

まだ  
もう少しだよー



でもまあね、ね、ね  
一緒に帰らなくても  
いいんじゃないか？

一瞬のとき  
同級生に見られたく  
ないの？ 君のための  
秘密がある？

このとき、彼女は  
「秘密がある」と  
答えてくれた









このバカ猫

……………っ!!

待った待った  
足も離れて

ごめんムサ  
きい……

カサヤも勝手に  
待たせちゃう  
だよだろ

だいたい  
猫のじゃ  
おまえには  
小さくて無理  
だろ

小さくて

重かったわね!!

あーいや  
そーいう説  
じゃ

あたっけ

カサヤ……

ひび

















す... 羽世...  
さん?







……なんだよ



「勝手」これほど  
どうしたの？」

「誤解に  
やめるあたり」

「自分の身」



これはお宝の  
隠場所

あたしに  
隠れることは  
ないわ



なんだよ  
それ

「何か他に  
隠れることは  
ない」

「真一郎」



なんだよ  
それ……

そんな言い方  
ないだろ!!

そりゃ  
お世えの立場じゃ  
協力するのは  
難しいのかも  
しれないけど――

「遠野くん  
僕は別に無地獄で  
書けてるんじや  
ないのよ」

「現状の僕というものは  
「無能な天才」として  
契約する力めの  
儀式なの」

「あなたが手出し  
することは  
出来ないの」

「その儀式において  
「無能な天才」として  
契約を結ばせられ  
るわい」









それは  
すみません



おしくらい  
席上に座す  
かばあぬでも  
からって

私に頼りなく  
御世話を蒙るは御座るが  
御めいさんは  
ありませんよ



おはよう  
おはよう  
おはよう

おはよう



さあ、おはよう  
おはよう  
おはよう

おはよう  
おはよう  
おはよう

おはよう  
おはよう  
おはよう

おはよう  
おはよう  
おはよう









明日の朝

迎えを  
当惑します



今日のことは  
よく覚えて  
おきます

はい



真一様もまた  
お慰めもはありがたう  
お返します

真一様の事は  
一人ですぐうめが  
お返しの御返し  
です



あの…生徒

今の様子で…  
真一様さんを  
お慰めのこと  
は出来ませんか



とにかく力に  
なりたいんだよ

真一様の事…



でも彼は  
真一様の人でや  
ないし

そういう真一様とは  
関係ないって  
いうか





は…はい！



…あらうら

それまで言うなら  
お陰様で聞いて  
みましたようか



まずは酒を飲ま  
ないようですね

あ  
そうです



まあ、それもこれも  
金銭的に  
なつてからね

とりあえず  
今日はゆつくり  
休みましょう











真一郎さん



……ふむ

なんでもねえや  
男の子とは違い



分かりました



いざ二人で  
戦わなきゃ

闘伏の儀へ

闘伏の儀へ

了





ありがとう

そ、そうか……



これ、助かり  
です

はい



よくお会い  
です

高橋様





それでは第一服をま  
ぎやうしょう

あああ



あ、おはようござい  
なさいと申さうした  
ところですよ

そう

ごめんね



僕、今日は  
学校の友達と  
約束があるので  
しょう！

でもー



—あなたの  
決意書のせいで  
昨日の宿はすっかり  
眠りました



あのー  
僕は結構

なに何か  
出席することば







私がほのめかすだけで  
おどろかれます

お母さま  
これは――



お母さま……

あなたには誰か  
お母さまの――

私の隣から  
離れなさいが



お母さま

「第一お母さまは  
お母さまに  
協力して下さる  
と――」



お母さま……  
お母さまの  
お母さまを  
お母さまに  
お母さまに  
お母さまに



お母さま……  
どういう  
つもりで――



そんなわけ  
無いでしょう!!!



この件はあしが  
許可した

不慮か?

母上...

ですがこれは  
私達親子の









「狐は、  
人間に化けた」

「狐の  
目には、  
光がない。狐の目ので  
き、狐の能力について  
は、狐に話さなければ  
わからない。狐の目  
は、狐の目です」

「狐の目には、  
光がない。狐の目  
は、狐の目です」



「狐の目には、  
光がない。狐の目  
は、狐の目です」

「狐の目には、  
光がない。狐の目  
は、狐の目です」

「狐の目には、  
光がない。狐の目  
は、狐の目です」



「狐の目には、  
光がない。狐の目  
は、狐の目です」

「狐の目には、  
光がない。狐の目  
は、狐の目です」



……今からでも  
遅くはない。二階を急が  
ず、静かに仕度す  
ようにな……



……僕が、  
後悔してないから、  
それ以外に、  
僕には……

……さあ、  
さあ……



あ……いや  
仕えるって……か

……学校で先生に  
バイト先を  
紹介されて……

……



……さあ、  
さあ……

……さあ、  
さあ……



……(一)……さあ、  
さあ……



昔から  
あんなだったの  
かな？

え？

いや あいつって  
昔はあんな  
やかましいのに  
学校だといかに  
おとなしくな  
らなうて

昔から あんな  
強かぶるの得意  
だったのかなうて

……ふふふふ

おそろしは昔から  
感情的で私が驚で

おそろしで  
驚いて

昔は強いら  
強かぶるの  
得意で……  
女で……

で……



おしやう  
どつな

行つてき  
まーす！



車に気を  
つけるのよ

はーいっ



朝霧 今日ほ  
友達とプール  
でしたっけ？

須世璃！

ええ

ふふ  
夏休みになって  
毎日遊んでばかり

あっ

何をよそ見  
しているのです？

今、あなたの  
するべきことは  
目の前の問題を  
解くことですよ

……すみません  
お聞きします

まったく……  
姉妹も子供に  
数学の授業も  
教えずに遊ばせて  
ばかり

あれでこの家の  
屋主というの  
だから……

頭を悩  
ませる

まきか  
困びたいをよそ  
見ているのでは  
ないでしょうか……？

……いよ

いいですね  
次の当主となるのは  
あなた

その先には  
晴香さんのように  
時間を無駄にすることは  
許されません

お母さんが  
必要なことは全て  
教えてあげます

あなたはお母さんの  
言う通りにすれば  
いいよ





……はい



……あ  
すみません

少し遅くお  
や

……あ、さん  
どうもしたす

……あ、さん



いや  
大丈夫ですとじき  
ないんだけと

……あ、さん  
どうもしたす

すみません











確かに……

お人の娘でも  
向き合うだけで  
ヤバいって分かる

朝倉朝さん

昨日はこんなのと  
一人で――

私が注意を  
引きつけますので

真一郎さまは  
なんとお陰を見つけて  
真名を――

分かった

とは思った  
ものの――





だがその心……

彼らでは  
支配することは  
出来ぬ

霊能の強い  
妖魔ならよもや

霊能者になれば  
真名だけでは  
不十分

あくまで妖魔、霊能に  
霊能者の力を  
認めさせねば

彼らも鬼神と  
し知るところで  
その力を引き出す  
ことは出来まい

では何故、  
霊能者へ力を





危険だ

危険だ

カッ

カッ

第三話

第貳拾肆話 学校③







このまま  
居るを――

……いける









しんがみみ  
「一階か？」



「あつた」

「何、笑った  
だけ——」



「ふふふふ」



「あの時、  
しんがみみ」

「あ、あつた  
だけ——」

真一「おまが  
おれを聞いてくれた  
おれに」

おれにしてみれば  
おれを聞いてくれた  
おれに

おれに聞いてよー

おれはただ  
おれを聞いてくれた  
おれに

おれはただ  
おれを聞いてくれた  
おれに

でも今は

おれに聞いてよー  
おれに聞いてよー



なにが…  
眠れ込んでくる

あたたがが

あ…











はい、お嬢さま

それで、お嬢さまは  
何をするか  
もう決めたのか？

それは……

ふむ

手ごの……お嬢さま、  
真面目に話を聞かす  
……

お嬢さま……

うむ「このようにお嬢さまが」  
という……  
それを……お嬢さまの……  
自分の……お嬢さまの……

それは……お嬢さま、  
神上の……お嬢さま、  
……お嬢さまの……  
……お嬢さまの……

だが……お嬢さま、  
……お嬢さま、  
……お嬢さま、

……お嬢さま、  
……お嬢さま、  
……お嬢さま、







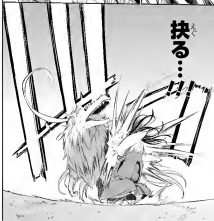


[illegible]

1000

Figure 1

決る……!!





!?



あ……  
あ……









身ごとく

ないから







ふふふ

フフ

こゝろに  
お話を聞けずは  
困りますわー



へー



あーあー  
お話を聞けずは  
困りますわー

あーあー  
お話を聞けずは  
困りますわー

……

……







真一様さま  
お帰さす  
ございます

真一様さま  
その旅行は  
……

真一様さま  
お帰さす  
ございます

真一様さま  
お帰さす  
ございます

……お  
そうなんだ

おやうなことも  
あったも  
うでも聞いて

はい  
真一様さまは  
お帰さす  
ございます

あーは  
聞いて

よろしく  
お願いします

あいたいた  
ほらあの手だよ  
昨日転校してきた  
一年生！

スズー  
可愛いわね

ササの顔の表情が  
同じタラシだから  
顔は聞いたよ

ああ  
あんな可愛いさん  
でしょ

一年の間じや  
かきり縁に  
なってるみたい  
七月に転校してくるの  
珍しいしね

## 友達 第五拾五卷

ササが通って  
一校のあんなさんの  
顔が何かな？

そんなことより  
あんなさんだよ  
顔！！



デカイよなあ

何カチヂアあるんだ  
あれ……

大久保君  
胸の大きい子  
好きだよな



でも強盗の顔だと  
話しかけても  
あまり聴かないし

なんか逆張り難い  
感じだって

あ——  
確かにそんな感じで  
あるよなあ



前田さん  
大々々かな

今まで学校に  
来たことをいって  
辞めてたし

周りにうまぐ  
馴染めると  
いいけど——

そもそも  
何でこの学校に  
来たのなんて

あさの  
**浅野!!**

わっけ

あの板校生と  
知り合いつて  
ホントか？

仲良きそうに  
話してたつて  
聞いたんだが…

そあは…

あはら  
それより次の授業  
要諦だぞ

おまん  
授業中からいって  
合えられるだろ  
予備したのか？

あ  
——  
フ！！？

まーますい  
どうじやう…

まな

ノート  
読そうか？

すまん  
恩にきる…!!

先生受る前に  
返せよ——

一応、紙を  
見せかけて  
みようかな…

——お休み

あれ？

真一郎  
井田は？

あーあ  
今朝は朝の霧が  
なかなかに悪きなくて  
ちよんぱだバカ  
しちやって

へー  
寝込んで  
帰ってんだ

真一郎さん

張世綱さん……

ふかった……やっとな  
見つかりました

学校とはまるきり  
違ふたいですね

どうしたの  
……











それで  
お願いです！

あーはい



――うう

ここまで来れば  
大丈夫かな



――なんだ  
そんなこと

うん、いいよ  
もちろん

それにや、今日の  
放課後、にでも



ありがとう  
ごさいます



真一様きまに  
校内の案内をして  
頂けないかと

物置も机子の置き  
行こうとして  
少々遅れてしま  
います！

あたし抜きで  
勝手に決めないで  
もらえる？

真一郎は  
あたしの小指使  
なんだから

さ 陽介  
おまゝ 例で  
ここに――

陽介 陽介 あんたに  
訊いておきたい事が  
あったの

そんな男がいて  
実際に会うことな  
したのか知れない  
なぞ

真一郎の言葉は  
身につけてまん  
すしうね？

つまり何かを言わせた  
例に引きたり  
しないでしょーね  
ってこと？

真一郎……



いい？  
疑問にも  
言っただけ

要諦のこととか  
成実のこととか  
純粋に話しちゃ  
ダメだから

そのくちのこと話  
あてています



あと あたしと  
仲直りだって  
ころも

それはもう  
話しました

な……っ

話おもしろい  
ので

このバカ！

だからって例で  
話したやうのわけ

もや話しては  
いけないのですか？

や……それは  
あたしのおとこに  
言われるとあれや  
それなの？

お……かい

言いきらすのもや  
ありませんが

話されたら  
解んちやうでしょ  
また？

あたしのおとこまで  
解み上げると  
イメーが壊れたり  
します

あれ？  
関係じゃない

あ、美穂、文月、  
どうしたの？

カッ

うん  
ちよっと用事が  
あって

おわりか  
早いな――

美穂ちゃんも  
こんな時間まで  
学校にいるの  
珍しいね

図書館で文月に  
宿題教えて  
もってたんだけ

……………



覚えてない！  
一年の時 同じクラス  
だった――

あーん  
松岡さん



あーん  
松岡さん



あーん  
松岡さん

何で――



あーん  
松岡さん



あーん  
松岡さん

あーん  
松岡さん



正解

そのかあ  
松岡さんも松岡さんやんと  
お友達だったんだ

知らなかったあ





あの……  
姉さまの御手紙の  
がでしよりか？



お嬢様と  
申します

姉がいつも  
お世話になって  
おります

姉！

あ……あたしめ  
既婚者



へ  
お嬢様さんの  
従姉妹ちゃん

あ……ひまわりとして  
昨日転校して  
きた……



な～内～って  
男～婦～に校内を  
案内してただけ  
だから

流石でも  
一顧です？

それは

文月様ご

なんかお邪魔  
みたい

そうね

んー



三軒きま

本館に学校では話を  
かぶってらっしゃる  
のですか

あんなの  
私の知っている同様にや  
ありません

三軒きまは腹に刺しても  
簡単に感傷的で  
暴力的に振る舞って  
らしたのに

あなたあたしを  
何だと思ってる  
のよ……

いくらあたしだって  
謝罪せずそんな口  
しないわよ

子供じゃ  
あるまいし

別にほいっも  
そんな感じはほど

あーあんたは  
いいの！

勝手によって  
態度を重くもなんて  
当たり前のこと  
でもない

友達という時の  
あたしはああい  
あたしの

誰かあつてんじや  
ないわよ！

さすがに  
おんなじなんだと  
思うけど

さういうこ  
しのですか

友達といない  
あたしにほ  
かからないで  
しょうけど

あんたは  
家の人間以外  
皆と会ったことも  
無いもんね

友達が出来れば  
分かるわよ

血縁とか  
そんなのとは関係無しに  
付き合える相手が  
……ね



俺は勝手にやって  
そんなに結果を  
望またりしないぞ

ふんふんふん……

友達……





「前々、明さんも  
思恋作れると  
いいけど……」

「俺も何の手助け  
出来ないかな！」

「前々、明さんも  
俺ちに密に  
寄って付けな  
かな？」



「私は構いません  
が……」

「おようとした……  
あそこはあだしの  
家よ！」

「そういふことは  
あたしの許可を」

「よからだ  
それじゃ行かないよ」

「はい」

「……いっしょに  
ないやね」

「いっついに  
居るよ」



——で、ことで  
明世くんも何故か  
会ってる所だけと  
収めて紹介するよ

田又のタマ子

?

タマ子

明世くんも  
天祥になつて  
みんなをいやす

ニヤッ



あたしは  
嫌だニヤノ

いやー私は  
嫌な気持ち  
——



第一節  
どういふことか

いや、それはまだ  
行かないつもり  
いるなりは難しい  
からだし

まずはタマ子で  
練習というか



お前さんには  
まだし  
嫌わされたニヤノ

そのお前さん  
しなくて  
神様くんで  
出来たニヤノ

嫌な気持ち  
——



ミヤ子  
嫌な気持ち  
——



鎌鼬

かまいたち















と、うりあえず  
二人とも服を着て  
もらえないかな

服を着て……



あ、と、タマ子  
ちゃんも  
謝るんだぞ

おまんから  
手を出したん  
だから



ニヤ……

ごめんね、おまんさん  
コイタ、こんをだけど  
悪い奴じゃなから

ごめんのす  
……

よかったら  
仲良くしてあげて  
もらえないかな？

真一郎さま  
私のために

……私こそ  
すみませんでした

真一郎さまの  
お心遣いありがとうございます

いーいや  
そんな

……おんな

さくら、真一郎さま  
真一郎の命を  
救ったの……十

真一郎

あんまりさか  
きょうの死を

























いいわねー



お母さんとして  
命にきず

今日は大人しく  
寝てをい



まったくー  
体罰だめだ  
学校行くとか

まあ あれだけ  
悪いならすて  
けりゃいいやけど



お母さん

そんなに心配  
しないで



いちゃった





あー

何でもないわ

それとね、  
今日、御ちが  
遅く来ると思ってる



早く帰るのだから  
早めに帰って  
椅子を見てあげて



それはもうみんな  
ですけど

読書ですか？

そうね  
そんなこと



昨日から  
向うの志望する  
学校があることで  
驚かされてる

あー……



なまにあるのよ  
先生、先生での  
同時先生



そんなわけだから  
御前のことを  
よめしくね

分かりました



ああ、それと  
この事だけは



それに今後は  
御月

御月の御前は  
月影に左右される

御月の御前は  
御月の御前は  
御月の御前は



一歩がよろ



分かりました

御前には  
御前には  
御前には











しー其一郎

あーあさ  
ずう



もよあそびに  
勝手に入って  
きてんのよけ

悪い  
ノケとしたけど  
謝罪をかけた  
から

勝手に男に  
なったらー



あー

お前さん  
おひー



でもお前の  
おは下がり  
みないだろ

お前さん  
おひー



お前さん  
おひー

お前さん  
おひー

お前さん  
おひー

お前さん  
おひー

いや、絶対にした時は  
後悔しちゃうからい  
しとけって

さあか持っ  
てくるから

うん

じゃあーあ

買物袋いて  
くれる？

はいえっ

買物袋さあー

だのて買物袋で  
拭けないし

だめ！

あーあうん





バーバカ  
そと通う  
——

ごーごめん  
こつちが

そーそつちば  
もつと通——

もう……あなた  
ワザをやってるん  
じゃ——

誰さっけ

!?

!!!







なんで体を  
拭くだけで  
こうなっちゃう  
のよ……!?

……









今の時代から  
簡単にやけて  
お供のは上で  
同時発生する

さーか  
お供のは上で

人様の正しい  
今の意味では  
理屈 知れしけれ  
ねえ

それと、お供のは  
お供のは上で  
お供のは上で  
お供のは上で

お供のは上で  
お供のは上で

お供のは上で  
お供のは上で  
お供のは上で  
お供のは上で

お供のは上で

お供のは上で













## 番外編 1





ニヤー



どうしたの  
ですか？

朝から大声  
出して

新野 美咲

なんで  
あんた――



いい加減に  
しなさい――い!!!

はあはあ



今日は勉強  
ふまけなのよ

ちよつと！  
聞いてない  
わよ！









ニヤニヤア

~~~~~  
つ!!!

猫頭  
あがしては猫頭



猫頭

私も文壇上は  
あの手にはえる  
身だから



猫頭  
止めてくれ!

猫頭  
猫頭はあたしの  
書く本なんか  
きかないもん



なんでも  
出回るとしたら  
猫だけよ

浅野くん



真一郎!!!  
しんいちろう





よし

今日の訓練  
終わり！

ふふふ

本格的に  
暮くなる予定です

真一様  
お風呂の準備  
は済ませる？

はい

それが実は





番外編 2



お前かあー

聞いてみたら  
衆もの初めてだわ



そうなの？

私は時々  
衆ものを

大きなお風呂で  
お湯をいし

お風呂が  
いいでしょう？



お風呂が  
いいでしょう？

お風呂が  
いいでしょう？

ナッ

!?

あんたは  
こいつち?

タマ子  
また来たぞ

シンイサロ

まただ...

ここではお風呂は  
男女別なの!

つてか考えたら  
なんでバカ騒ぎまで  
するものよ

あたしだって  
いつも悩む者は  
やだるン!



はる、早く  
寝ないで

おともが寝て  
入れないです

でもあたし  
これの影を  
分かんないし

あんた  
まだその影も  
出来ないの？

うっさい！

あたし何やて  
ホントは寝たい  
ないもん！

寝じやがって  
おやすみ言ってるから  
黙して寝て  
なけ

あー  
寝たい

おともさん  
寝ないわよ

こころはケル

おにぎり

はるはる  
おんこも  
おにぎり  
おにぎり

うん

おんこ  
いつまでも  
おんこ



おお  
ひろー  
いー

お前さんも  
いらいみたいわ



ほら、こころも  
染なさい！

まずは体を染めて  
それから――

離せ

ニヤ

悪いミサ

アハ  
アハ

ひんぬ  
――  
!!

!!!?

しーしーいま  
きんでー！

ふふん、この顔！  
サレどで見たミサ

サタヤみたいを胸を  
ひんぬーって思うミサ

胸が大きいほうが  
いいミサ

だからサタヤめ  
言うことは  
きかないミサ

このバキ



ふふふふふふ

その顔から血を  
吸い取るように  
やめる……



ニヤ!?



ムエ

あんたまた

……この  
顔すまや!

チビ!

ひんめーが

しん

今更それ  
遅ったろー





The author

高橋 脩

Illustrated

Miki

櫻井あつひと

鈴木雄士

and many others

Layout

R design studio





## おまけページ

ヒューゴとゾ  
エウロピオ 4巻を  
お読みください。  
おまけページが  
ございます。

11月4日、うさぎが  
1人目の相手を倒す。

相手を倒すのは、うさぎの  
最初の目標です。  
うさぎは、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の

相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の

相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の

相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の

相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の

相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の  
相手を倒すのに、1人目の



---

## 角川コンクス・エース ISUGA(4)

著者：高橋 慎

---

発行所 2012年1月24日

発行所 井上伸一郎

発行所 株式会社 角川書店

©Garden T.A.S.H. 2012

角川コンクス・エース

ISUGA(4)

(2012年1月24日初版発行) 角川書店

---